

平成２７年度施設管理に対する評価シート

◎基本情報

管理施設

①施設名	大阪市立クラフトパーク
②指定管理者名	一般財団法人大阪市教育振興公社・イオンディライト株式会社 共同事業体
③評価対象期間	平成２７年４月１日 ～ 平成２８年３月３１日
④指定期間	平成２６年４月１日 ～ 平成２８年３月３１日
⑤所管課・担当	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習担当（電話：０６－ ６５３９－３３４６）

管理運営業務等の概要

①業務概要	クラフト（手作り工芸）の総合施設である「クラフトパーク」における施設の維持管理と、陶芸等の工房を活用した創作教室・体験教室等の事業や、クラフト関連の情報提供等の各種事業の運営。
②利用状況の概要	施設利用者数52,499人（別途その他入館者16,999人有）
③施設の設置目的・目標 （成果指標）	新たな基礎自治体が所管・運営する施設への移行に向け、平成26年度から2年以内に収支均衡を図る。
④年度目標	夜間閉館や人件費等の見直しによる経費削減を行うとともに、料金改定等の収入増策により、収支改善を図る。

◎管理運営の実施状況

１ 施設の設置目的の達成及びサービスの向上

①施設の管理運営状況（管理運営方針・手法に沿った施設の維持管理の状況、平等利用の確保、職員の体制、危機管理・安全管理業務等の実施状況）	設備維持管理の状況、職員の体制、危機管理・安全管理など、施設の管理運営状況は仕様のレベルを十分に満たしている。
②事業計画の実施状況（計画に沿った事業実施、サービスの質、利用促進のための取組みと効果、利用者満足度の把握・反映状況、自主事業等の実施状況）	・地域団体や地域商店街などが実施する「古代市」への参加、老人介護施設や区民まつり、区民センターや大阪駅前再開発エリア内の複合施設への出前体験講座等、さまざまな団体・企業と連携した企画を実施した。
③施設の有効利用（他施設との連携状況、地域との連携状況、市民・ＮＰＯとの協働状況等）	・大阪市交通局との連携事業として、地下鉄２駅構内において出前体験講座を実施した。 ・「クラフトパークフェスタ２０１５」を実施するにあたり、運営に協力するサポーターを受講生から募集し、１３１名がクラフトパークで学んだ工芸の技法をフィードバックする機会を提供した。 ・大阪市立平野図書館と共催で「えほん展」を、クラフトパーク展示室で実施した。 ・大阪市平野消防署と共催で「防火・防災図画展」を４日間実施した。

２ 市費の縮減効果（収支状況）

①収入・支出状況	収入 171,186,324円 （利用料金137,162,154円、自主事業収入34,024,170円、管理代行料0円） 支出 171,186,324円
----------	--

②市費縮減に係る取組み状況	市政改革プランの実施計画に沿って、現在の指定管理機関である平成26年度からの2年以内で収支均衡を図るため、収入においては料金改定を行い、創作教室の基礎コースを27,000円、本科コースは33,000円、専科コースは39,000円と、それぞれ3,000円の値上を実施した。支出においては、開館時間を変更（夜間閉館）し、高額な光熱水費が必要な吹きガラス教室を休止するなど、市費歳出の大幅な縮減を図った。 <平成25年度>（利用料金制）管理代行料 74,977千円 <平成26年度>（利用料金制）管理代行料 14,771千円 <平成27年度>（利用料金制）管理代行料 0千円
---------------	--

3 社会的責任・市の施策との整合等

環境への配慮、就職困難者の雇用への取組み、個人情報保護に関する取り組み等の実施状況	・個人情報保護規定を策定し、適切に取り扱っている。
---	---------------------------

4 その他（点検等における要改善項目の対応状況、その他特筆すべき事項等）

①評価項目概要	なし
②上記についての成果や望まれる対応等	なし

◎評価

1 所管所属による1次評価（太枠にS・A・B・Cの四段階で評価を記入）

①施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価	平成28年3月に実施した受講者アンケートにおいて、授業の内容及び職員や指導員の対応について95%の方から「満足」との回答が得られており、非常に良好なサービスが提供されていると評価しうる。	A
②市費の縮減効果に対する評価	平成26年度からの2年以内で収支均衡を図るため、指定管理期間最終年度として計画どおり0千円まで市費が縮減されている。	B
③社会的責任・市の施策との整合等に対する評価	個人情報の保護など、社会的責任・市の施策と合致している。	B
④総合評価	安定的な利用者サービス、市費の縮減が計画どおり達成されている。	B

2 外部専門家等の意見

・受講料の値上げを行ったが、受講者の満足度は下がっておらず、受講者数も減少していない。質の高い利用者サービスが提供されていると評価できるが、引き続き努力が必要であると考えられる。 ・出前講座・出張体験教室については、実施にかかる経費や人員を勘案して、教室事業の受講に結び付ける、効率良く効果の上がる方法に絞るべきである。 ・新しい試みである体験入学は、創作教室受講への定着を促すうえでも高く評価できる。 ・対外的な広報活動は努力していると評価できるが、受講者アンケートなどからの広報媒体別の効果を一層分析し、有効な方法をさらに模索すべきである。 ・指定管理代行料0円という厳しい状況の中で、収支均衡を実現出来たことは評価できる。 ・大阪市内の利用者を増やすために、利用者の多い上位5区のうち、平野区以外の区役所やNPOなどの活動団体と連携する等工夫してはどうか。
--

3 所管所属最終評価（太枠にS・A・B・Cの四段階で評価を記入）

①施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価	平成28年3月に実施した受講者アンケートにおいて、授業の内容及び職員や指導員の対応について95%の方から「満足」との回答が得られており、非常に良好なサービスが提供されていると評価しうる。	A
②市費の縮減効果に対する評価	平成26年度からの2年以内で収支均衡を図るため、指定管理期間最終年度として計画どおり0千円まで市費が縮減されている。	B
③社会的責任・市の施策との整合等に対する評価	個人情報の保護など、社会的責任・市の施策と合致している。	B
④総合評価	安定的な利用者サービス、市費の縮減が計画どおり達成されている。	B

評価の基準	S…事業計画又は本市の定める水準の想定を大幅に上回る効果が得られた
	A…事業計画又は本市の定める水準で想定した以上の効果が得られた
	B…おおむね事業計画又は本市の定める水準どおりの効果が得られた
	C…事業計画又は本市の定める水準で想定した効果が得られていない

※ 施設の管理運営に関して過失による事故や協定違反等による改善指示、指名停止措置（平成25年4月から「参加停止措置」）などのペナルティを受けた場合は、当該項目と総合評価については原則としてCとすること